

スイーツプレート作りで会話弾む JA婚活プロジェクトでイベントを開催



スイーツプレートを前に会話も弾み、交流を深める参加者たち

JAは2月24日、婚活事業として「第6回JAハッピープロジェクトスウィーツプレート作り交流会」を花巻市内のホテルで開催しました。JAの婚活登録者や花巻市、北上市などから20代〜40代の男女13人が参加し、果物やスイーツを組み合わせてオリジナルのスウィーツプレートを作りました。コンテストも行い、お互いの作品を見ながら交流を深めたほか、フリータイムでは更に距離を縮め、3組のカップルが成立しました。参加者からは「プレート作りが楽しかった」「一人一人と長く会話する事ができて良かった」という声が聞かれました。

支店職員が酒仕込みを体験 農家が育てた米がお酒になるまでを知る



日本酒の成分のもととなる「酒母づくり」を体験する職員

釜石支店は2月17日、酒造会社(株)浜千鳥(釜石市小川町)で、地域住民と共に酒仕込み体験を行いました。仕込んだのは、大槌酒米研究会でJA組合員の佐々木重吾さんの水田で育てた県オリジナル酒米「吟ぎんが」で、地域住民などが田植え・収穫体験を行ってきたもの。参加した職員15人は、洗米や製麹、酒母づくりなどを地域住民と協力しながら行い、力仕事も多いさまざまな作業工程を体験し「お酒の一滴一滴を味わって飲みたい」「お酒になる過程を農家にも伝えたい」と話しました。齊藤金浩支店長は「酒仕込みの過程を体験し、汗を流すことで酒米を作る農家や製品となった酒への思いも変わる。組合員との距離も近くなる。また、地域の方々と共に作業するのも貴重な機会」と話しました。

子どもたちにスキーの楽しさ伝える 湯田支店がスキー教室を開催



講師の支店職員から、スキーの上手な滑り方を学ぶ児童たち

湯田支店は2月17日、西和賀町の特微である雪をいかし楽しさを小学生に伝えようと、スキー教室を湯田スキー場(西和賀町湯之沢)で開きました。町内の児童10人が参加し、支店職員3人が講師を務めました。児童たちはレベル別に2班に分かれ、雪が降りしきる中、滑り方を教わりながら元気に滑走。雪の中に埋まっているカプセルを見つけた宝探しゲームや職員が作った豚汁を保護者と共に味わった昼食会で更に交流を深め、楽しみました。刈田拓弥支店長は「西和賀町を盛り上げるきっかけになれば嬉しい。今後も雪国らしさをいかしたイベントや情報発信をしていく」と話しました。

地元食材を贈り激励 花巻東高校硬式野球部にお米と豚肉を贈呈



花巻東ナインに県産食材を贈った(左から)照井副本部長、阿部組合長

JAとJA全農いわては2月23日、第90回選抜高校野球大会に出場する花巻東高校硬式野球部に地元産のお米と豚肉を贈り、必勝を祈願しました。花巻市松園町の同校で贈呈式を開き、花巻市産米「ひとめぼれ」120kgと県産豚肉1頭分、金一封を贈呈。JAの阿部勝昭組合長とJA全農いわての照井勝也副本部長が菅原颯太主将など部員3人に目録を手渡しました。阿部組合長は「県産食材で力を付け、花巻東旋風を吹かしてほしい」、照井副本部長は「球児の代表として大暴れしてもらいたい」と激励。菅原主将は「皆さんの支えを自覚し、誇りを持ってプレーしたい」と意気込みました。

出動!スノーバスターズ 沢内支店職員が雪かきボランティア



職員とボランティアたちが、ともに汗を流して除雪しました

西和賀町では、高齢者や体の不自由な人など自力での除雪が困難な世帯を対象に、地域住民やボランティアが除雪を行う「西和賀町スノーバスターズ」が活躍中です。2月11日には、沢内支店の職員とボランティアたちが、湯之沢地区4世帯の自宅周辺を除雪。例年以上の積雪と前日のみぞれで重くなった雪を相手にして汗を流しました。地域の助けになりたいと支店として4年前から参加しています。高橋喜彦支店長は「この雪を相手にするのは大変だと改めて感じた。地域に根ざし、住民の力になれる活動を展開していく」と力強く語りました。

他業種との繋がりで農産物に新たな可能性を 農業女子と飲食店「異業種交流会」



農業女子と飲食店、地元農家などが集まった「異業種交流会」

花巻市内の女性農業者と飲食店は2月15日、新たな流通や地産地消、互いの繋がりを広げるため、市内のレストランで「異業種交流会」を開きました。女性農業者や飲食店約45人が参加し、女性農業者が栽培した農作物で作ったコース料理の試食や、消費者ニーズの情報交換、JA出荷と組み合わせた6次産業化やレストラン出荷を行う農家の事例発表などを行い、食で展開する地域活性化や地産地消などについて話し合いました。参加者からは「野菜の活用も農業の可能性も無限にある。他業種と繋がりを持って発展させたい」と前向きな声飛び交いました。